

校長室  
だよ！

おみっ子

通信

令和6年3月6日  
麻績小学校  
No. 13



思い合いの心でみんなが笑顔！

3学期があつという間に終わろうとしています。2月にはまとまった雪も降りましたが、子どもたちは元気に過ごしています。学校では、令和5年度のまとめの活動が続きました。

## 1年間の学びのまとめ ～参観日・紙芝居発表～

今年度最終となる参観日が行われました。学習成果を発表する学年が多く、子どもたちは緊張しながらも楽しそうに発表をしていました。保護者の方に手紙やプレゼントを渡す学年もあり、きつどの学年でもお子さんの成長が感じられる授業参観になったことと思います。



学んだこと得意なことを発表



お家の方への感謝の手紙



ふるさと紙芝居の披露

6年生が、学級の中核となる活動として取り組んできた「ふるさと紙芝居」の発表を、地域の方や、お話にゆかりのある方などを招待して行いました。「まさかりごんげん」というお話と出会った子どもたちは「なぜだろう」「知りたい」「行ってみたい」という問いや願いをもって、学校を飛び出し、実際の物語の舞台となった地域を巡り、探究的に学習を進めました。紙芝居の発表にも追究にかけた熱が加わり、情感のこもった上演となりました。麻績小学校では、このような子どもの問いやねがいから始まる学びをこれからも大切にして取り組んでいきます。

## 児童会活動の集大成 ～児童総会・6年生を送る会～

令和5年度の終わりに際し、児童会活動も引き継ぎの時期となりました。児童総会では、各委員会から成果と課題の発表がありましたが、活動に対する意見や要望がたくさん出されました。5年生はもちろんですが、3年生や4年生からも発言があり、素晴らしいと思いました。特に私の心に残ったのは「〇〇週間が終わって委員の呼びかけが終わると、もとの状態に戻ってしまう」という高学年からの発言です。ここを改善することは難しいですが、できたらすごいことです。これからの児童会活動に期待したいと思います。



今年度の成果と課題



たくさんの意見や要望



心をこめた6年生を送る歌

6年生を送る会は、児童会を引き継いだ5年生が企画、運営をしました。まもなく卒業する6年生に対する感謝の気持ちや応援する気持ちをこめた各学年の発表があり、6年生からも在校生を思いやる気持ちのこもったクイズや歌の発表がありました。心の通い合う会となりました。

6年生の教室に「あと8日」のカウントダウンがありました。何事も有終の美が大切です。最終日までの残りの日々が「かけがえのない日々」となるように、過ごしてまいります。